



池二だより

教育目標
よく考える子 思いやりのある子 元気な子

令和5年9月29日
大田区立池上第二小学校
校長 東田 都美

よりよい教育を目指す

～ほんとうかな、やっぱり、なるほど～

副校長 中村 正人

「ほんとうかな、やっぱり、なるほど」。この文言は私が担任のときに所属していた区の教育研究会理科部で学んだ、理科における問題解決型の学習過程を分かりやすくした言葉です。理科では自然事象の中で、児童が見つけ出して不思議だな、確かめてみたいな、と感じるいわゆる素朴概念を実験や観察を通して、科学的な見方や考え方を身に付けていくことが大切であると言われていました。

先日、校内で4年生の授業を観察しました。その学級は理科室で水の流れる特質を見付ける授業を行っていました。そこでは土・粒子の粗い小石・粒子が細かい小石のそれぞれが入った筒が用意されており、どの筒が一番、しみこむのが早いかを予想していました。児童は前時に実験で使う土や小石を実際に触っていて、多くの児童が、手触りがさらさらとしていた土が一番、水の通りがよいと考えていました。

それぞれの筒に同量の水を一斉に入れてみると、児童の予想に反して粒子が一番粗いものの底に水がいち早く溜まりました。実際に手で触れた感覚とそれらが積み重なってきた、粒子と粒子の間の隙間により、水のしみこみ方が大きく違ってくることを学んでいました。

今回の実験で感心したことは、それぞれの筒を水が流れる様子を繰り返し観ることができるように、実験をする班の中で記録係を作り、タブレット端末を使ってその様子を記録し、実験後に再度、動画を再生して、実験結果をまとめる際の手掛かりとしていたことです。一斉に水を流したとき、見る角度や役割によって、水がしみこむ様子を正確に観ることができない児童がいる場合もあります。全ての児童が正しい角度から繰り返し観察できるように動画を撮影し、考察をする時の手掛かりになるようにタブレット端末を使っていたことは、私が担任をしていたときには、考えられないことでした。

単元によっては実物に触れることが難しく、どうしても映像を見て学習を進めなくてはならない場合もありますが、改めて実物に触れ、自分が疑問や不思議に思って自分で学習を進めることの大切さを感じた授業でした。

「ほんとうかな、やっぱり、なるほど」。現代に常識としてあることはもしかしたら全てがあっているとは言いきれないかもしれません。今一度、「ほんとうかな」と疑問をもって学習に臨むことを大切にしていきたいと考えています。

【学芸会の保護者参観について】

今回の学芸会に参観できる保護者の方々の規制はなく、各家庭2名まで、該当学年の演目に限り、優先席を設けます。

10月の生活目標

「心と体をきたえよう」

暑さも少しずつ和らぎ、勉強や運動に最適な気候となりました。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」など、様々なことに取り組みやすい季節です。「けんこうな心と体 池二の子」を目指し、学校図書館や教室で本を読み、たくさんの児童が豊かな心を育てています。また、10月の学芸会に向けて、児童が日々懸命に練習を行っています。心と体を鍛え、楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います。

(生活指導 担当)

10月の行事予定

1	日	都民の日
2	月	全校朝会 サポートルーム授業公開(6日まで) 係児童打ち合わせ(6年)6校時
3	火	
4	水	音楽朝会 午前授業(区の研究会のため)
5	木	ロング昼休み(1・3・6年、五組)
6	金	おはなしクレヨン(低学年、5組) ロング昼休み(2・4・5年)
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日(祝日)
10	火	安全指導
11	水	4時間授業 係児童打ち合わせ(6年) 6年のみ5校時
12	木	学芸会リハーサル 5時間授業
13	金	学芸会(児童鑑賞日) 5時間授業 会場設営(6年)6校時
14	土	学芸会(保護者鑑賞日)4時間授業 給食あり 会場片付け(5年)5校時 5年のみ5校時
15	日	
16	月	振替休業日
17	火	周年全校写真・クラス写真撮影
18	水	児童集会 歯科健診(全) サポートルーム保護者会
19	木	自転車教室(2年)
20	金	おはなしクレヨン(低学年、五組)
21	土	
22	日	
23	月	朝会 クラブ(卒業アルバム用撮影)
24	火	友だち広場
25	水	避難訓練(二次避難)
26	木	
27	金	おはなしクレヨン(高学年) 地域清掃5校時(全学年) 5時間授業
28	土	
29	日	
30	月	朝会 特別時程(午後会議のため)
31	火	避難訓練予備日 前日健診(5年)

「5組より」

9月22日(金)に校外学習で「キッザニア東京」に行きました。事前に体験する仕事について調べました。当日は混雑が予想されたので「自分のやりたかった仕事ができなくても、気持ちを切り替えよう。他の仕事をやってみたら楽しいかもしれない。たくさんチャレンジしよう。」という話をしたところ、当日は全員3つ(多い人は4つ)の仕事をする事ができました。貴重な体験になったようです。

9月29日(金)には大田区の特別支援学級合同で行う連合運動会がありました。たくさんの方が応援してくれる中で、低学年は徒競走、高学年はリレーに出場し、力を発揮しました。また、夏休み明けから練習を重ねたダンス「やってみよう」を楽しく踊ることができました。

10月の学芸会では、「にんじやになりたかったカメレオン」を13人みんなで力を合わせて演じます。「人にはみんないいところがある。自分は自分。自分らしく生きていく」という台詞があるように、これが劇のテーマになっています。5組の子供たちには、これから先もずっとこの言葉を大切にしてほしいと思います。また、観ているお客さんにこのメッセージを届けようと、日々練習しています。どうぞお楽しみに。

(5組担任)

「6年 とうぶ移動教室」

9月4日(月)、9月5日(火)の一泊二日で長野県にある休養村とうぶに行ってきました。雨天のため、ハイキングではなく、スポーツレクとなりました。前半は行動班対抗で遊び、後半は、バスケ、バレー、ドッジボール、パターゴルフなど、やりたいスポーツに分かれて楽しみました。その後、入浴までの時間は、各部屋で思い思いにゆったりと過ごしていました。とても広いお風呂で、友達と気持ちよく入っていました。

夜は、雨があがり外でキャンプファイヤーをすることができました。火の神、火の精の登場とともにダンスやレクをやってみんなで盛り上がりました。

2日目は、湯楽里館でお土産を購入しました。誰に何をあげようか悩んでいました。松井農園では、3種類のりんごの食べ放題で、全種類を食べていました。酸味と甘みが全て違って、とても美味しかったです。

移動教室を通して、時間を守って行動すること、お互いが協力することで、気持ちよく生活ができ、楽しい時間を過ごすことができるということを学ぶことができました。

この経験を活かし、卒業まで安心して安全な学校生活を過ごしてほしいと思います。

(6年 担任)

「4年生より」

9月14日(木)に青少年対策池上地区委員会主催の池上プラネタリウム教室へ行きました。プラネタリウム教室では、解説員の方から月や星の見え方、星座の種類等について教えていただきました。

子供たちから多く歓声があがったのは、12星座がドームに映ったときです。自分の誕生月の星座を見つけている児童や、「すごくきれい。」と感動している児童もいました。「満天の星」とはまさにこのこと。たくさん星に囲まれながら、楽しい時間を過ごすことができました。少し前の時代を生きた人たちは、北斗七星が動かないことや、星の並びを見て生物に例えたりすることを、毎日のように楽しんでいただのかと思うと、とてもうらやましくなりました。

夜、顔を上げれば見えるはずの星も、池上ではたくさん明かりが夜空を照らしてしまい、見えにくくなってしまっています。ですが、プラネタリウム教室で見た星をずっと覚えておいて、またいつか、夜空を見上げたときにふと出合える時が子供たちに来るといいなと思いました。

(4年 担任)

「児童引渡し訓練」

本校では毎月、地震や火事、津波などを想定した避難訓練を行っています。9月2日(土)には、児童引渡し訓練を行いました。本校では、「東京都総合防災訓練」の一環として毎年実施しています。新型コロナウイルスの影響で過去3年間は1年生のみの実施でしたが、今年度は全学年での実施となりました。

児童引渡し訓練は、大地震の発生で警戒宣言が発令されたことを想定し、児童が安全に帰宅できるよう保護者の方へ円滑に引き渡すこと、そして、学校に残留する児童の保護を目的としています。児童は、放送での避難の指示を落ち着いて聞き、素早く行動していました。また、保護者の皆様のご協力で円滑に児童の引渡しを行うことができました。

このような訓練を通して、児童一人一人が危険から自分の身を守ろうとする意識も一段と高めていきたいです。

(生活指導 担当)